

歴史と出会えるまちづくり船場城西の会 第210回定例会

■代表挨拶

■活動経過等報告

- ・コロナ禍のもと複数回にわたって出された緊急事態宣言、まん延防止等重点措置により活動は停滞した。
- ・5月のまちあるきは中止
- ・船場小学校「歴史と人に会うまち歩き」実施(6/21月)
- ・6/6の楽市は緊急事態宣言下により中止
- ・敬愛館解体に伴う倉庫設置、備品移転作業(7月下旬～8/1)
- ・9/5の楽市は緊急事態宣言下により中止決定
- ・10/3のウォークは52名参加(当日51名、ネット予約1名)

■当会の危機的財政状況について

かつては総資産額 200 万円超を計上し盤石ぶりを誇った当会財政であるが、事業収入の長期低落傾向の下でコロナ禍の影響をうけ収入がさらに著しく減少している折に想定外の敬愛館解体の事態が降りかかり、倉庫設置費用(¥244,300)支払い後の総資産額が数千円となり小学生の貯金箱並になる事態となった。先日のウォーク実施により、3万円程度の活動資金が確保されたが状況は依然として厳しく引き続きイベント実施による増収活動に取り組むこととしたい。

■ウォーク事業の実施について

- ・10/24日 姫路城下の面影をたずねて
- ・11/21日 千姫ゆかりの地巡り

■姫路市まちづくり指導課ワークショップについて

■その他

出席者 柴田武志 中山栄一郎 下山裕史 原隆 橋本博和 久保剛 塚本進介

挨拶 柴田代表 まち歩きはまずまずの参加者だった、コロナ禍での事業について協議していきたい。

進行 下山事務局が行う。

船場御坊 除夜の鐘 (12/31・日) を振り返り

コロナ禍で例年より参加者がかなり少なく、100名を切った。2度撞きもあり、早く終わった。例年の感覚で遅くに来た人もいた。焚火用ブロック積の後始末ができておらず、正月明けに原理事が片付けた。今までの安井氏が来られなくなったため。次回は正月明けに日時を決めて片付けることにする。

船場御坊楽市 (3/7・日) 中止について

緊急事態宣言が解除されたが、出店見合わせが多く中止した。知らずに御坊へ来た人もいたので、今後中止の告知の仕方を検討する。今年から3, 6, 9, 12月の4回に変更したので今までの5月を開催しないため、門前に告知文を掲示する。4月末に今年度の開催予定フライヤー (A5版) を作成する。

まち歩き (3/14・日) を振り返り

晴天に恵まれ、参加者は37名、スタッフ10名が参加した。前回は50名超えだったため、資料は50部用意した。1名の入会申し込みがあった。告知は広報ひめじ、リビング姫路に掲載、市民会館、観光なびにフライヤーをおいた。広報ひめじを見ての参加が多かった。神戸新聞は中山副代表が支社へ記事依頼に行ったが掲載がなかった。

町名由来板の修繕について

博労町が読めなくなっているため、文字部の修繕をする。中山副代表にて手配した。

5月まち歩き開催提案について

事業が少ないため、5月16日(日)に播磨風土記の丘巡りを開催することに決定。9:15 姫路駅コンコース集合、9:30~12:30 葉師山、景福寺山に登る。他詳細は今後決定する。告知は広報ひめじ (投稿締め切り済) 以外の方法で行う。

その他

- ・姫路市にて日本語、英語版のマップを増刷した。今更ではあるが城南地区で道が描かかれていなかった。
- ・柴田代表から県中播磨の次年度の助成金事業への応募についての提案があったが、コロナ禍でもあり助成を受けた新規作成物がないため見送る。姫路市の提案事業他については7頁7があれば申し込む。
- ・10月に船場小学校、城西小学校の6年生児童のまち歩きの依頼が両校からあった。
- ・10月のまち歩きは10月24日(日)に開催することに決定。